

「不安障害に理解を」大阪で市民講座 来月7日

「第2回日本不安障害学会学術大会市民公開講座」が3月7日午後2時から、大阪市中央区北浜東3のエル・おおさか(大阪府立労働センター)で開かれる。不安の時代ともいわれる現代。同学会では、強迫性障害など不安障害などについて、より広く知ってもらうために、市民の参加を呼びかけている。

内容は、大阪市大大学院の松永寿人講師(神経精神医学)が「手洗いや確認を止められない! 強迫性障害という病気について」、また、勝延寺(熊本県)住職で保護司の吉津隆勝さんが

申し込みは不要 体験談など講演

「つれづれ思うこと―ある精神科医との出会い」と題して講演する。松永講師は、施錠などの確かめ癖、整理整頓、きれい好き、手洗い行為などが病的で日常生活に支障をきたす強迫性障害について分かりやすく解説。元高校国語教諭でもある吉津さんは自身が不安障害にかかり、病気と闘った体験談を講演する。

公開講座は、「不安障害と日常診療から最前線まで」をテーマにした同学会学術大会(座長・切池信夫大阪府大大学院教授)の一環として開かれる。

参加は無料で、申し込みは不要。当日先着順で定員800人。

おこわ

「健康Q&A」は休
みました。